

一 般 質 問

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 森林環境譲与税について		
	<p>島国である日本は天然資源が少ない中、国土の3分の2の面積の森林という資源は、貴重な財産であり、多くの恩恵も受けてきました。地球環境の温暖化防止、水源、災害にも深い関連があり森林整備の必要性が再確認されています。</p> <p>平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設されました。「森林環境税」は、令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収します。</p> <p>「森林環境譲与税」は、市町村による森林整備を財源として、令和元年度から市町村と都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されています。</p> <p>そこで寄居町でも課税開始となる令和6年度に向け、しっかりと方向性を導き出す必要があると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 平成31年度からの寄居町での活用実績と金額について伺います。</p> <p>(2) 森林環境譲与税では、間伐等の「森林の整備に関する施策」と人材育成や担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発の「森林の整備の促進に関する施策」に充てることとされていますが、町の具体的な施策について伺います。</p> <p>(3) 森林を整備することにより、土砂災害などが未然に防ぐ事ができるし農業にも良い影響が生まれると思います。寄居町においても、新たなキャンプ場やグランピング施設などの観光事業にも広がると思います。間伐材を利用した木道の整備や、幼稚園や保育園等に間伐材を利用した積み木などで地域の材料をPRするべきだと思いますが、町の考えを伺います。</p> <p>(4) 間伐材を利用して雀宮公園を含め公園等での木の名前のネームプレート作成などに使用するべきだと思いますが、町の考えを伺います。</p>		
	2. 観光の振興について		
<p>寄居駅南口駅前拠点施設「Y o t t e c o」が開設され、観光面で寄居を内外にSNS等を使い発信していかなければいけないと考えています。これからの季節はふるさと歩道のハイキングコースやかわせみ河原でのキャンプ等でも賑わう時期となります。都心や近県からのアクセスの利便さを利用し、寄居町への集客を行政と町民が一体となり考えなければいけないと思います。そこでお伺いします。</p> <p>(1) ハイキングにも老若男女問わず寄居町に訪れています。山道の険しい箇所での整備やバリアフリー（手摺）など整備が行き届いているか伺います。</p>			

- (2) ハイキングコース等のリーフレットの案内は良いですが、実際に駅から山道に行くまでの道路での案内版が少ないと思います。もっと案内板を増やすべきだと思います。町の考えを伺います。
- (3) 私自身もハイキングを行っていますが、山道に入る手前には駐車場やトイレの整備が整っていないところがあります。駐車場やトイレの整備の考えについて伺います。
- (4) 寄居町にも過去にオリエンテーリングの標識がありました。平地等でも楽しめるコースだったと思います。
- ①看板等は現在どのような状態なのか伺います。
- ②今後、平地を利用した、町民も参加しやすい健康長寿のまちづくりを目指したハイキングコースも整備するべきと考えますが、町の考えを伺います。

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 寄居町における観光名所へのライブカメラや標識等の設置について		
	<p data-bbox="304 286 1481 427">第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標2の基本施策2で「常にシテイプロモーションを意識し、多くの方の目に留まるような記者発表や情報発信に努めます。」と明記してあります。</p> <p data-bbox="304 450 1481 636">また、令和5年度から役場組織の改正で、プロモーション戦略課が設置され、さらなる広報の重要性が認知される事となりました。新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、今後イベント等の開催や人々の外出も多くなると予想されます。寄居町も同様に賑わいが戻ると思われます。</p> <p data-bbox="304 658 1481 741">現在、寄居駅南口駅前拠点のY o t t e c oやY O R I B A、雀宮公園、玉淀河原、鉢形城公園、四季折々桜を見られる場所など多数の観光地を有しています。</p> <p data-bbox="304 763 1481 904">特に、近年の低山登山ブームより鐘撞堂山は、ハイカーには通年で大変人気の場所になっています。ハイキングコースは深谷市からと寄居町からのコースがありますが、頂上は寄居町となっております。</p> <p data-bbox="304 927 1481 1010">このような観光資源を多くの方に知ってもらえるように、今まで以上に積極的な広報活動をすべきと考えます。そこで伺います。</p> <p data-bbox="304 1032 1481 1368">(1) 隣町の長瀬町では長瀬駅前、宝登山、岩畳等からライブカメラで町並みや景色等の映像を配信して多くの方に視聴されています。担当者に伺いましたらカメラを5台設置し、通信費なども含めて5年契約で費用は約170万円とのことです。設置のメリットとして観光地の状況や混雑具合の確認、防犯カメラとしての活用、遠隔地から地元の様子がわかるなど観光客だけでなく町民にも好評とのことです。寄居町でも同様に町内外の方々に見どころのある観光地の配信はできるのか伺います。</p> <p data-bbox="304 1391 1481 1576">(2) 鐘撞堂山頂上は寄居町ですが、登山者の方々にはあまり知られていないようです。登山道には深谷市の標識がいたるところに設置されております。そこで登山者に喜んでもらえるような寄居町独自の標識を頂上に設置することができるのか伺います。</p>		
	2. 各自治区における町民の役割分担について		
<p data-bbox="304 1727 1481 1816">人生100年時代と言われてから大分過ぎました。個人差はありますが年齢を重ねると若い頃とは違う事が多くなると思います。</p> <p data-bbox="304 1839 1481 1921">確かに自分が居住している地区の仕事はみんなで行なう事が基本です。</p> <p data-bbox="304 1944 1481 2076">近年、区長など三役も人選が難しくなっているようです。特に、居住者が順番で受け持つ班長や隣組長などの役に対しては、役を受けるにあたって、仕事が本当にできるかどうか心配している高齢者の方が多いとの話を聞いています。</p>			

しかし、若い世代にばかり仕事をさせるわけにもいきません。班ごと、隣組ごとに対処をしていますが、やはり大変と伺っています。

今後少子高齢化はますます進む事になり区の運営が近い将来、維持できなくなると心配されます。そこで伺います。

- (1) 町では、このような地区の人手不足の解決策の考えがあるか伺います。
- (2) 町では、他の市町村などでのよい解決策事例を把握しているのか伺います。
- (3) 今後、どのような対策等をするのか、町の考えを伺います。

議席番号	9	議員氏名	笠 原 則 夫
項目・要旨	1. 埼玉県北部地域地方創生推進協議会について		
	<p data-bbox="284 286 1471 376">婚活関係で質問すると、必ず答弁に出てくる「県北7市町で組織する埼玉県北部地域地方創生推進協議会」（以下、協議会）について伺います。</p> <p data-bbox="284 394 1471 640">この協議会の「埼玉県北部地域移住・定住交流サイト」は、クオリティの高いホームページだと思いますが、2016年にスタートしてから当町からのお知らせは「地域おこし協力隊員」の募集くらいです。主な中身は4つに分類されていて、「埼玉で暮らそう」は良くできていると思いますが、「お知らせ一覧」と「魅力紹介」は同じもの。「暮らす人の声」は4件に留まっていて、残念な感じです。</p> <p data-bbox="316 658 555 694">そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 712 1471 900">(1) 上記ホームページ内の「婚活情報局」で紹介されている、この協議会とSAITAMA出会いサポートセンター本庄の共催で、今年2月12日に出会いの会であるValentine's Partyが開催されました。当町からの参加状況を伺います。</p> <p data-bbox="284 918 1471 1003">(2) 同じく「婚活情報局」の中で紹介されている「自分磨きワークショップ」に、当町からの参加状況について伺います。</p> <p data-bbox="284 1021 1471 1160">(3) この協議会もSNS（フェイスブック）を使用していますが、最後の記事が2017年2月7日です。6年4カ月間更新されていません。この協議会自体が機能していると思うか伺います。</p> <p data-bbox="284 1178 1471 1263">(4) 以前では当町役場でも「結婚相談」を受け付けていたとのことでした。その期間と中止に至った理由について伺います。</p> <p data-bbox="284 1281 1471 1469">(5) 県北7市町と言っても当町に隣接しているのは深谷市と美里町のみです。大里広域市町村圏組合の協力自治体は熊谷市と深谷市です。隣接している嵐山町・小川町・東秩父村・皆野町・長瀨町とも新しい枠組みを作り、共通の課題である「少子化対策」について様々な協力体制を作れないか伺います。</p>		
	2. 寄居町の若手職員研修について		
	<p data-bbox="316 1621 1385 1657">次代を担う若手の町職員について、どのような研修をしているか伺います。</p> <p data-bbox="284 1675 1471 1760">(1) 県職の方が当町に出向するように、他の自治体に出向して業務経験をさせる機会があるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1778 1471 1863">(2) 今年は中学生海外派遣事業が行われると聞いていますが、引率経験をさせる機会はあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1881 1471 1917">(3) 一定期間海外に滞在させて、語学や自治の研修をさせる考えはあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1935 1471 2020">(4) 総務省主催の地方公務員海外派遣プログラムに応募する考えはあるか伺います。</p>		

3. 各種「石碑」の説明書きについて

中心市街地が活性化され、町内を回遊する人が増える準備が整ってきました。当町もその道沿いに多くの「石碑」が存在し、時に歩行者が足を止めて見たりすることでしょう。しかし、誰のものかが分かるくらいで、説明書きのあるものは少ないです。そこで伺います。

- (1) 「石碑」の由来や内容の説明書きを、その隣に設置してはどうか伺います。
- (2) 小川町のように「ヤオコー発祥の地」や「しまむら発祥の地」等、各種説明書きを設置する考えはあるか伺います。

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. デマンドタクシーについて		
	<p data-bbox="284 286 1485 792">デマンドタクシーは、高齢者の足として好評です。高齢の利用者からは、「近隣の病院まで利用出来ないか」との声があります。高齢者が公共交通を使って近隣の病院に行くには、歩くのが必要であり大きな負担となります。駅まで歩く、乗換駅で歩く、そしてバス停まで歩かなくてはなりません。男衾地域より深谷赤十字病院へ行くには男衾駅まで歩き、寄居駅で鉄道又はバスに乗換のため歩く。鉄道では熊谷駅で乗換のためさらに歩かなくてはならず負担が増します。タクシーを利用すれば、玄関から玄関へと行けますが高額です。男衾地域より深谷赤十字病院へ往復タクシーを利用すると、一万円以上になります。治療費と薬代を含めると大きな出費になり、生活するための大きな負担になります。町民からは、近隣の病院まで利用を拡大できないかとの声が多く寄せられています。</p> <p data-bbox="284 808 1485 898">そこで、寄居町を支えてきた高齢者の足としてのデマンドタクシーについて伺います。</p> <p data-bbox="284 913 1485 1003">(1) 物価は高騰し年金は上がり、負担が増す高齢者の交通弱者からのデマンドタクシーへの利便性向上要求を把握しているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1019 1485 1108">(2) 過去にも質問しましたが、高齢者は物価高騰による生活費負担の増加から近隣の病院まで運行拡大の声が多く出ています。なぜ出来ないのか伺います。</p> <p data-bbox="316 1124 746 1158">①法規制があるのか伺います。</p> <p data-bbox="316 1173 1034 1207">②市町村自治体間の取り決めがあるのか伺います。</p> <p data-bbox="316 1223 970 1256">③タクシー業界との協定があるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1272 1485 1473">(3) 近隣の自治体にはデマンドタクシー、コミュニティバスがあり交通弱者の足を支えています。双方の利点を有効活用するために相互乗り入れまたは、境界近傍に乗換場所を設置し双方のデマンドタクシー、コミュニティバスの乗換えが出来ないのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1489 1485 1624">(4) 救急車を呼ぶほどではないが、急に体調が悪くなり、すぐにデマンドタクシーを利用したい時など、当日では予約が取れないとの声があります。台数を増やして予約しやすくする必要があると考えますが、町の考えを伺います。</p>		
	2. 新型コロナウイルスについて		
	<p data-bbox="284 1780 1485 1975">新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5月8日より、季節性インフルエンザと同じ5類へ移行しました。政府は一律に感染症対策を求めるのではなく、個人や事業者の判断に委ねられます。対応の転換に対し、専門家からは今後、第9波が起こり「第8波より大きな規模になる可能性がある」と見解を示しています。</p>		

町としての対応について伺います。

- (1) 新型コロナウイルス感染後の後遺症が出て、仕事が出来ない人がいることを把握しているのか、また、後遺症の対応はどう考えているか伺います。
- (2) 新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応はどうなるのか、インフルエンザと同様に小中学校においては発生者数により、クラス又は学年閉鎖になるのか伺います。
- (3) 新型コロナウイルス感染症が拡大したときの町の対応について伺います。

3. 高齢者支援について

高齢者の生活は、ロシアのウクライナ侵攻による物価高騰の影響で負担が増し、食料費・医療費を切り詰めた生活を強いられています。生活困窮者の非課税世帯には支援がありますが、年金収入が非課税世帯ギリギリの方は苦しい生活をしています。町独自の高齢者支援として、非課税世帯ギリギリの収入世帯に支援が必要と考え伺います。

- (1) 町は年間所得200万円以下の世帯の生活実態を把握しているのか伺います。
- (2) 家庭向けの電気料金が6月から値上げされ、高齢者世帯では夏場にエアコンが使えないと命にかかわる事態になると考えます。電気料高騰に対する町の施策について伺います。
- (3) 町独自の施策として、年間所得200万円以下の世帯に生活困窮世帯支援として5万円を支援できないか伺います。

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. マイナンバーカードの交付と利用状況について		
	<p>政府が地方自治体のDX化に力を入れている中で、先進自治体では、窓口での申請時間短縮や、手続きがオンラインで完結できるようになるなどの取り組みが進んでいます。各地でDX化を進め、広げようとするには、システムの標準化や人材確保などの課題の多い中ですが、行政のデジタル化に向けてはマイナンバーカードの普及は欠かせないとされています。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町のマイナンバーカードの普及状況について伺います。</p> <p>(2) マイナンバーカードは健康保険証として使えるようですが、受診する側は保険証として確認する必要があると、健康保険組合の新システム導入と医療機関のシステム導入が必要となると思われますが、町では設備導入状況について把握しているのか伺います。</p> <p>(3) マイナンバーカードでの写真の取り違いや名前の誤表示などはおきていないのか伺います。</p> <p>(4) マイナンバーカードのこれからのメリットについて伺います。</p>		
	2. 新規就農者への支援拡大について		
	<p>埼玉県は、自然条件に恵まれ、首都圏に立地していることもあり、農業は盛んです。中でも県北地区においては、農地は多いが高齢化により就農者は減る一方です。その様な中で、若い新規就農者で、真剣な農業参加者もいます。その人たちが口を揃えて言うことは、「農地確保」という壁です。</p> <p>土地によっても、耕作放棄地を借りても農地の整備に多大な労力を割かねばならず、なかなかスタートできません。初期の3年間を新規就農者営農資金に頼りますが、短かすぎて農地整備の費用が賄えないことにもなりかねません。また、作物を作っても、販路の問題もあり、新規就農者が売れる場所を見つけるのは難しいとも言われています。</p> <p>そうなっては、やる気をそがれ離農になってしまいます。その様なことにならないよう町の考えを伺います。</p> <p>(1) 買うにしても、借りるにしても農地の提供がなければできませんので、新規就農相談があったなら、相談できる「農地バンク」の立ち上げができないか伺います。</p> <p>(2) 新規就農者に対する補助金制度の見直しができないか伺います。</p> <p>(3) 販路斡旋を官民一体でできないか伺います。</p> <p>(4) 以上のことを総合的に相談できる相談窓口は作れないか伺います。</p>		

3. 空き家対策特別措置法の実態について

空き家が増え続けています。制度上の問題や処分に関する情報不足などが背景にあり、国では空き家対策特別措置法の改正案が出され、景観・治安・衛生面など、住環境を悪化させる空き家の発生を防ぐ方策について考えていく必要があると考えます。

総務省のまとめによると、2018年の全国の空き家は849万戸。このうち居住目的のない空き家は349万戸で20年前からほぼ倍増しました。

国土交通省の空き家所有者の実態調査によると、空き家にしておく理由としては「解体費用をかけたくない」が約47%、「更地にしても使い道がない」が約37%となっています。また、「住宅の質の低さ」などから利活用の難しさが目立ち、管理面の心配事は「住宅の腐れ・破損」が多く、「樹木・雑草の繁茂」、「不審者の侵入や放火」と続いています。今回の改正は特定空き家の前段階である管理不全空き家の新設となっています。そこで伺います。

- (1) 2年前に当時の同僚議員の質問に対する、空き家の実態調査の回答で、平成30年の空き家数は2860戸と伺いましたがその後の調査があったのか伺います。
- (2) 空き家対策特別措置法の管理不全空き家・特定空き家は町にどの位あるのか伺います。
- (3) 空き家バンクの利用状況を伺います。
- (4) 当町の住環境を悪化させる空き家の発生を防ぐ方策について伺います。
- (5) 国土交通省の調査にある、空家等対策計画はどのような内容なのか伺います。

議席番号	1	議員氏名	里見夕子
項目・要旨	<p data-bbox="309 219 1007 253">1. 自転車用ヘルメット購入費用の助成について</p> <p data-bbox="309 286 1458 376">道路交通法が改正され、令和5年4月1日より自転車に乗る際のヘルメット着用が年齢を問わず「努力義務」となりました。</p> <p data-bbox="309 394 1458 533">努力義務であるため、着用するかどうかは利用者の意思に委ねられているものの、事故の際に命を守る手段として、ヘルメット着用は重要な役割を果たします。そこで伺います。</p> <p data-bbox="309 551 1474 640">(1) 事故による重症化や死亡者を減少させる効果のある、自転車用ヘルメット着用の推進を寄居町としてどのように取り組まれているのか伺います。</p> <p data-bbox="309 658 1458 795">(2) 埼玉県内の10の市・町で、着用率アップに向けた取り組みとしてヘルメット購入費の補助をしている自治体がありますが、寄居町としても購入費用の助成をお考えか伺います。</p>		

議席番号	1 2	議員氏名	鈴 木 詠 子
項目・要旨	1. 防災DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について		
	<p>自然災害が激甚化・頻発化する中、気象情報や被害状況を迅速に把握し、分かりやすく伝えることで住民の安全確保につなげるための人工知能（AI）などの最新技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める自治体が広がっています。年々想定を超える水害など「自然災害」が強くなっているのに対し、防災インフラの老朽化や人によるだけの防災減災機能などの「社会体制」は脆弱なものとなっています。特に大きな課題は、国や自治体、企業などが持つインフラ情報や災害情報のフォーマット（形式）がバラバラでわかりづらいということです。町民にとって防災情報をわかりやすく提供することについて当町の考えを伺います。</p> <p>(1) 当町の防災情報発信の現状と課題について</p> <p>(2) 情報の一元化のための「防災アプリ」の導入について</p> <p>(3) LINE上でロボットと会話する「チャットボット」の活用について</p>		
	2. 女性の健康課題について		
	<p>女性の一生は性ホルモンの状態によって、思春期、成熟期、更年期、老年期と年齢によってホルモン分泌量が変化し、結婚や妊娠・育児などのライフステージの変化が健康に影響を与えています。また、性ホルモン分泌量の低下速度が緩やかな男性に比べ、女性は、女性ホルモンの分泌が思春期から閉経期まで、およそ1ヵ月単位の周期で大きく変動します。月経周期にともなう貧血や生理痛、月経前症候群（PMS）などの月経トラブルや頭痛、便秘、肩こりなど、女性は男性より多くの健康課題を抱えています。また一般的には45～55歳頃の女性に多いと言われる更年期障害も20～30代の若年性世代にも発症例があり、これらのことは「女性の活躍推進」における大きな課題となっています。そこで当町の対応について伺います。</p> <p>(1) 当町の女性に対する健康対策の現状について</p> <p>(2) 役場職員の生理休暇の取得状況について</p> <p>(3) 「フェムテック」を利用した女性特有の健康課題の緩和策について</p>		
3. 性の多様性を認め合う教育の推進について			
<p>埼玉県教育局の令和2年度に実施された埼玉県内の公立幼稚園や学校に対する性的指向・性自認に関するアンケートによると、平成27年度以降に性的指向・性自認に係る相談を受けた幼児等の有無について「いる・いた」とされる割合が23.3%で、学校種別では幼稚園が2.3%、小学校が8.4%、中学校が40.5%、高等学校が54.1%と学齢が上がるにつれて当該幼児等の割合が高くなる傾向にあり</p>			

ました。また、幼稚園や特別支援学校でも「いる・いた」の回答があったことは、幼少期から始まる性の違和感に対しても支援が必要であることの根拠となります。

また、民間のアンケートでも全国の10代のLGBTQの内、約48%が自殺を考えたことがあると答えており、パートナーシップ制度など性的マイノリティに対する社会全体の理解が進んでいく中で、幼少期からの性の多様性を認め合う教育の推進は非常に重要と考えます。そこで当町の対応を伺います。

- (1) 当町の対象機関における支援や配慮の現状について
- (2) 専門職による性教育の実施について
- (3) 当町の自殺対策計画にLGBTQの項目を取り込むことについて

議席番号	3	議員氏名	吉田 林藏
項目・要旨	1. 遊休町有地の有効活用について		
	<p>以前、「GOOD PARK」の名称で、町民の憩いの場として使用した市街地の武町にある消防署跡地の柵を取り除いて有効活用すべきと考えます。普段は商店街の駐車場、イベントがある場合は会場として、または貸し駐車場として活用してもらいたいという要望があります。このような要望に対しての町の考えを伺います。</p>		
	2. 近隣市町村との職員交流について		
<p>職員のスキルアップを図るため、定期的に職員を研修目的で、近隣市町村に派遣することが必要ではないかと考えます。または近隣市町村から効率的業務手法を体得している人に来てもらうことで人材・育成を図ることも必要ではいかと考えます。近隣市町村との職員交流についての町の考えを伺います。</p>			

議席番号	2	議員氏名	浅見 玲子
項目・要旨	1. 少子化対策を更に進めることについて		
	<p>少子化対策には子育て支援が大変重要であると考えます。隣の深谷市がこの4月から保育料の完全無償化に踏み切ったことは大変強いインパクトがあります。若いカップルが結婚して子育てを視野に住居を探すときに、インターネット等で検索する傾向があります。そこで伺います。</p>		
	(1) 前回の議会での答弁では、近隣の動向を見るとのことでしたが、深谷市の保育料の完全無償化は大きな指標になると考えますが、改めて保育料の完全無償化について伺います。		
	(2) 現在、寄居町で保育所を利用する場合の保育料は、第1子、第2子で2歳児以下の場合、有料になっており、令和4年度の0歳から2歳児までの保育料の徴収額が4541万円余りと聞いていますが、これを全額無償化にできないか伺います。		
	(3) これまで子ども医療費を18歳まで無料にしてきたように、保育料を段階的に無償化にすることはできないか伺います。		
2. 鉢形駅のバリアフリー化について			
<p>鉢形駅は残念ながらバリアフリーからかけ離れた駅で、高齢者や障がい者だけでなく、小さい子どもを連れている方にとっても大変利用しづらい駅となっています。数年前、鉢形地区の区長会が請願書を提出して、議会にて全員賛成で採択されましたが、その後全く進展の様子がみられません。そこで伺います。</p>			
(1) 国土交通省は公共交通機関におけるバリアフリー化の促進に力を入れていますが、残念ながら法律の改正後も1日の利用者数が2000人以上の駅が対象となっています。また、埼玉県立川の博物館の最寄り駅となっていることから、今後、鉢形駅のバリアフリー化を町として進めるべきであると思いますが、町の考えを伺います。			
(2) エレベーター以外のバリアフリー化もあると思いますが、今後そういったことも含めて調査研究を進めるために予算をつける考えはないか伺います。			
3. 今回の町議会選挙の投票率等について			
<p>今回の町議会議員選挙の投票率が、初めて50%を切り、49%でした。国政選挙の場合は投票率が低いことが多いですが、町村議会選挙では、住民の関心の高さから投票率が50%を切ることはまれだと思われます。そこで伺います。</p>			
(1) 今回の投票率について、町はどのように考えるか伺います。			
(2) 分析するために、年代別の投票率の統計が必要だと思いますが、公表する予定			

があるのか伺います。

(3) 高齢者など、期日前投票も含めて投票に行きたくても行かれない人がいる実態を把握しているか伺います。

(4) 選挙公報が大手の商業新聞に折り込みで届けられていますが、最近では新聞を取っていない家庭が多くなっています。なるべく全世帯に配布するための手立てが必要だと考えます。新聞折り込み以外では、どのように配布したのか伺います。また、有権者数に対して、配布できた割合はどのくらいだったのか伺います。

議席番号	14	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 寄居駅南口駅前拠点施設（Y o t t e c o）の事業計画と施設の充実について		
	<p>5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたことに伴い、人流も活発になり社会経済も好循環を示しています。当町においても中心市街地活性化事業も完了し、拠点施設（Y o t t e c o）を中心とした施設を生かし、その成果を示す時期にきています。指定管理者並びに担当課の手腕を発揮し、町民の期待に応えなければならない重要な任務を課せられています。現時点での評価はできませんが、今後の事業計画と施設内容の充実について伺います。</p>		
	2. 観光開発について		
	<p>当町は自然に恵まれ山・川があります。この山・川を資源とした観光開発に向けたプロジェクトチームの結成について提言いたします。</p> <p>秩父市、長瀨町にはお客様を呼び込む目玉があります。お客様が興味を示すものがあります。残念ながら当町には魅力を示すものがありません。それは観光開発に向けた検討・研究が弱いとしか言えません。町独自の自然、山・川を利用、活用し、何ができるかどのようにするべきか、課題は何なのか、できない理由を考えるのではなく、開発に向けて調査研究する、真剣に考える時期でもあります。そこで伺います。</p> <p>(1) 川の観光利用について伺います。</p> <p>①舟下りについての考えがあるか伺います。</p> <p>②ラフティングを実施する考えがあるか伺います。</p> <p>③グランピングするキャンプ場の整備の考えがあるか伺います。</p> <p>④玉淀河原対岸絶壁岩、周辺の整備について伺います。</p> <p>⑤さらなるかわせみ河原の利用促進の考えについて伺います。</p> <p>⑥鉢形城跡から対岸（玉淀河原）への滑車遊具の建設の考えについて伺います。</p> <p>(2) 山なら常木山の山林開発について</p> <p>荒川グリーングリーンが、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受けました。まことにおめでとうございます。日ごろの活動に敬意を表します。1年中桜が観られる町に着目し、当町の観光の目玉になると考えられます。現在は、1年中桜が観られると言ってもどこに行けばいいか良くわからないとのお客様、町民の声があります。そこで伺います。</p> <p>①常木山の一部を利用し、土地を区分し、四季に咲く種類を分類し春夏秋冬のゾーンをつくることについて伺います。</p> <p>②自動車侵入道路、駐車場、休憩場所の建設について伺います。</p> <p>③グランピング施設の設置について伺います。</p> <p>④町有地全体の利用勝手がよくなるような未所有地の取得について伺います。</p>		

⑤サイクリングコースの設置について伺います。

⑥上記のような先進地の調査研究を行うことについて伺います。

3. 敬老祝い金の見直しについて

花輪町政になりまして敬老祝い金制度を変更し、7年が経過いたしました。高齢者の意見を集約すると「以前の制度がよかった」「高齢者になると健康ではなくなる。動けるうちにもらいたい」「現行の制度も良いから祝金の額を見直していただきたい」との声があります。そこで伺います。

(1) 敬老祝い金の制度の見直しについて伺います。

(2) 現行の制度では、77歳で1万円、88歳で2万円、99歳で3万円となっておりますが、これを77歳で5万円、88歳で3万円、99歳で2万円とする見直しの考えについて伺います。

(3) 祝い金の額を見直した場合、町内活性化、経済面からもY o r i - C a (ヨリカ) で給付すべきと考えますが町の考えを伺います。

議席番号	8	議員氏名	権田孝史
項目・要旨	1. 男衾土地区画整理事業について		
	<p>近年、各自治体で人口減少に対する対策を講じている中、我が寄居町もいろいろな対策をし、努力しております。この人口減少対策は、国内の多くの自治体の問題であります。</p> <p>テレビ番組でも、古民家の再生や移住促進番組がよく放送されます。各自治体の考え方で人口減少対策に力をいれており、いろいろな地域性や環境等を生かした工夫をし、努力して頑張っています。</p> <p>男衾土地区画整理事業地については、男衾駅から東に420m、小学校に1,200m、大型スーパーマーケットに900mと利便性の良い場所だと考えます。</p> <p>先日の新聞折り込みに、ハウスメーカーの株式会社石田屋からチラシ広告が入り、「寄居花園店」の営業所の開設案内と、「令和6年分譲スタート（全56区画）の先行予約受付開始」とありましたので順調だと思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 事業開始から約1年が経過しましたが、これまでの進捗状況とこれまでにあった問題について伺います。</p> <p>(2) 土地区画整理事業地内に公園がありますが、どのような管理をする予定なのか伺います。</p> <p>(3) 新居を購入する方には、補助金制度や優遇制度があるのか伺います。</p> <p>(4) 周辺道路や隣接する県道赤浜小川線の拡幅整備問題について</p> <p>①土地区画整理事業地内の南側道路の東西入口については、現在の生活道路としては大きな問題がありませんが、東西の出入り口が狭く今後の交通量しだいでは危険を感じます。安全対策は考えているのか伺います。</p> <p>②隣接の県道赤浜小川線については、再三質問をさせていただいていますが、この事業に併せて、熊谷県土整備事務所に町として拡幅整備を要望していただけないか伺います。</p>		
	2. 令和元年、請願第1号の進捗状況について		
	<p>昨年12月議会に、令和元年の請願第1号、町道4845号線わき「水路氾濫防止対策を速やかに実施していただきたい」との請願の進捗状況の質問をさせていただきました。</p> <p>12月の町長の回答ですと、「当該箇所は以前より大雨が降ると水路が氾濫しているため、ネックとなっている県道深谷嵐山線の横断部の改修は、県に要望を行っていますが実施に至っていないため、水路の浚渫を行い氾濫発生の低減対策を講じております。」と回答いただきました。問題になっている箇所が、県道深谷嵐山線を横断する部分の断面積にあると認識されていると感じました。そこで伺います。</p>		

- | |
|--|
| <p>(1) 今後、どのような計画で水路氾濫防止対策を進めていくのか伺います。</p> <p>(2) 水利組合や埼玉県（県道深谷嵐山線）、また隣接の深谷市嵐山町等にも諸問題があるとは思いますが、請願という重要性の認識を持って、住民の安全と財産を守っていただける対策を講じていただきたいと考えます。町の考えを伺います。</p> |
|--|

議席番号	15	議員氏名	原口 孝
項目・要旨	1. 寄居町の文化芸術について		
	<p>文化芸術基本法は、文化芸術に関する施策に関し、基本理念を定め、責務等を明確にすることにより、活動を行う者の自主的な活動の促進を旨として、施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって心豊かな生活及び活力ある社会実現に寄与する事を目的としています。そして文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことは、人々の変わらない願いであり、文化芸術の拡充や継承は人々の創造性を育み、表現力を高めるとともに心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであるとあります。</p> <p>寄居町においても美術家協会があり、私も展示会等、見学させていただいておりますが課題はあると感じております。そこで次のような質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 展示備品の整備が必要と思われませんが、整備についての考えを伺います。</p> <p>(2) 展示会場について協会との話し合いのもと、どのように会場をセレクトしているのか伺います。</p> <p>(3) 町としては、協会への支援、今後の対応を、基本法による責務として、どのように果たしていくのか、伺います。</p> <p>(4) 協会のメンバーも視察や研修を含め後継者の育成等、活動しているなか、行政バスの利用について、2年に1回と聞いていますが、その理由について伺います。</p>		
	2. 放課後児童健全育成事業の環境整備について		
<p>学童保育は子育てにとっても最高の応援団であります。保護者が安心して働くことができ、また女性にとっては社会進出には欠かせない放課後児童健全育成事業だと私は考えております。学童保育は家庭の要素である、「遊び・生活・学び」を培う第2の家とも言えるのです。町長の言われる非認知能力を育てる場でもあると考えます。</p> <p>また、児童の笑顔と元気を発信する地域における重要な場所でもあります。指導員の方々は、父親であり、母親であり、時にはお兄さん、お姉さんであります。暖かい雰囲気づくりを心掛け、児童ファーストで自主性・主体性を尊重し、1人ひとりが主役となり、笑顔で楽しい学童生活を送れるよう援助している大変な仕事です。しかし、運営には非常に厳しい状況にあるのは事実です。そこで伺います。</p> <p>(1) 安全確保上、施設への送迎バス点検義務は行われているのか、伺います。</p> <p>(2) 常勤職員の配置に必要な経費補助金について伺います。</p> <p>(3) のびのびとした環境確保のため学童の新設を要望する声がありますが町の受け止め方を伺います。</p> <p>(4) 指導員の働く環境として給与改善が必要と考えますが、町の考えを伺います。</p>			

3. 水道事業について

水道事業の基本理念は「安全で安心な水を安定して供給する水道」であり、安定的・持続的な経営を目指すために「安全・強靱・持続」を掲げた経営戦略が策定されました。戦略によると大変厳しい環境にあり、対応する必要があると考えます。

そこで伺います。

- (1) 戦略では令和12年までの投資額を約65億8000万円と見込んでいますが、現在の整備状況について伺います。
- (2) 効率的経営と資産管理計画の推進によりトータルコストは低減されたのか、データまたは数値を示して答弁をお願いします。
- (3) 今後は水道委員会において、様々な角度から審議されると思いますが、どのくらいの頻度で開催を予定しているのか伺います。

4. 子ども・若者議会開催について

こども家庭庁が創設され、「子どもの意見反映」の取り組みについては、自治体の義務であることを強調しています。そこで「子ども・若者議会」を開催し、施策提言や意見を重要視して、町行政は無論のこと議会としても、しっかり受け止め反映させるべきと考えています。

町行政においても取り組むべきであると考えますが、町の考えを伺います。

- (1) 町は「子ども・若者議会」を開催する意思はあるのか、伺います。
- (2) 若者が行政に参画する良い機会を創設すべきであると思いますが、このような機会について町はどう受け止めているのか、伺います。